



# 2020 年度 中間決算報告

2020 年 11 月 20 日  
日販グループホールディングス株式会社

## 目次

1. 経営成績
  - 1-1. 連結経営成績
  - 1-2. 連結事業別業績
  - 1-3. 連結計算書類
    - ① 連結貸借対照表
    - ② 連結損益計算書
  
2. 補足資料
  - 2-1. 連結子会社一覧
  - 2-2. 連結主要経営指標の推移

## 1. 経営成績

### ハイライト

- ・減収増益。取次事業は営業赤字だが、小売事業は増益。不動産事業も堅調。
- ・小売事業における新型コロナウイルスの影響は、店舗の立地により明暗が分かれた。

### 1-1. 連結経営成績

連結会計年度 2020年4月1日～2020年9月30日

単位：百万円・%

	2020年度	2019年度	前年差異	前年比
売上高	242,861	250,820	▲7,959	96.8
営業利益	1,401	1,072	328	130.7
経常利益	1,484	1,116	368	133.0
親会社株主に帰属する中間純利益	292	138	153	210.4

日販グループ（連結子会社数 34 社）の 2020 年度上半期の売上高は 242,861 百万円と、前年比 96.8%、▲7,959 百万円の減収となりました。主な要因は、日本出版販売(株)（以下、日販）において、コミックスが増収となるも、雑誌・書籍・開発品がいずれも減収となったことです。

営業利益はグループ全体で固定費の削減に取り組んだ結果、1,401 百万円（前年比 130.7%）と増益、経常利益も 1,484 百万円（前年比 133.0%）と増益となりました。

特別利益 51 百万円、固定資産除却損、店舗閉鎖損失等の特別損失 458 百万円及び法人税等を加減した親会社に帰属する中間純利益は 292 百万円と、前年比 210.4%、153 百万円の増益となりました。

2019 年 10 月の持株会社体制移行に加えて、2020 年 4 月よりエンタメ事業の分社化（日販セグモ(株)）及び管理業務のシェアードサービス会社化（日販ビジネスパートナーズ(株)）と、一層のグループ経営を推し進めた結果、成長分野への経営資源の集中とグループ全体でのコスト減を実現する事が出来ました。

事業別では、取次事業は 2019 年度下半期より営業赤字が継続しておりますが、小売事業・不動産事業がグループ全体の増益を牽引致しました。

## 1-2. 連結事業別業績

### ○取次事業

単位: 百万円・%

	2020年度	2019年度	前年比
売上高	221,717	230,473	96.2
営業利益	▲31	44	—
経常利益	71	200	35.4

取次事業は、営業赤字に転落、経常利益も減益となりました。

日販は返品減少や物流コストの削減に取り組み、前年に対して営業赤字を78百万円圧縮しましたが、減収・運賃値上げの影響が大きく、▲112百万円の営業赤字となりました。(詳しくは日販の決算報告資料をご覧ください。)

(株)MPDはセルAV・レンタルの減収をBOOK・GAME・文具の増収によりカバーし、全体では増収となりましたが、利益率の高いアイテムの減収が影響し利益率は低下、営業利益13百万円と、▲82百万円の減益となりました。

出版共同流通(株)、中三エス・ティ(株)の営業利益が、取次事業全体の営業利益を底上げしましたが、日販・MPDの影響が大きく、結果として事業全体では▲31百万円の営業赤字に転落しました。

経常利益では、受取利息や受取配当金等の営業外収益があり、なんとか黒字を確保しましたが、▲129百万円と大きな減益となりました。

#### 【対象となる主な会社】

日本出版販売(株)、(株)MPD、出版共同流通(株)、中三エス・ティ(株)、日販物流サービス(株)など

### ○小売事業

単位: 百万円・%

	2020年度	2019年度	前年比
売上高	30,896	30,415	101.6
営業利益	281	100	280.0
経常利益	287	99	289.0

小売事業は、利益率向上に向けた各種取り組みが功を奏し、増収増益の決算となりました。

BOOKについては、出版社様と日販で実施している低返品高利幅スキーム「PPIプレミアム」に取り組むことで、粗利益を改善しました。

また、文具雑貨では、前年よりさらに売場を623坪増床し、売上高は2,837百万円(前年比115.5%)となりました。その結果、粗利益を103百万円改善しております。

新型コロナウイルスの影響により、緊急事態宣言期間中、大型商業施設・駅前立地店を中心として、(株)リブロプラスなど最大58店舗が閉鎖となる一方で、営業を継続したロードサ

イド店は増収となりました。

当上半期のグループ書店の新規出店は3店舗、閉店は8店舗で、2020年9月30日時点の店舗数は245店舗となりました。

### ○海外事業

単位:百万円・%

	2020 度	2019 年度	前年比
売上高	2,728	3,325	82.1
営業利益	50	72	70.1
経常利益	52	80	65.5

海外事業は、減収減益となりました。

日販アイ・ピー・エス(株)は、蔦屋書店の中国での新規店(杭州天目里 蔦屋書店)等による輸出事業の増収はあったものの、新型コロナウイルスの影響が重く、大幅減収となりました。

主な減収要因は、主力のCLUBJAPAN事業(海外向け物販サービス)において、国際郵便の引受停止による受注のストップや、フライトキャンセルに伴う出荷済み商品の返品が発生したことです。加えて、輸入事業においては、欧米出版社の刊行遅れなども発生しました。

### ○雑貨事業

単位:百万円・%

	2020 年度	2019 年度	前年比
売上高	1,088	925	117.6
営業利益	▲12	1	—
経常利益	2	47	4.6

雑貨事業は、増収、経常減益となりました。

(株)ダルトンは、第一四半期は、新型コロナウイルスの影響により、オンライン販売の増加や巣ごもり需要が高まった結果、直営事業が好調でした。しかしながら、卸先の雑貨店の休業などが大きく影響し、ベンダー事業が大幅な減収減益となりました。

第二四半期においては、事業全体で盛り返しましたが、第一四半期のマイナスを取り戻すまでには至らず、上半期は営業損失となりました。経常利益では、為替の影響により黒字を確保したものの、前年と比較すると▲45百万円の減益となりました。

## ○コンテンツ事業

単位：百万円・%

	2020年度	2019年度	前年比
売上高	947	856	110.7
営業利益	244	276	88.3
経常利益	244	276	88.4

コンテンツ事業は、増収減益となりました。

(株)ファンギルドは、「めっちゃコミック」や「コミックシーモア」などの大手サイトでの売上が伸長し増収となりました。一方で、より良質なコンテンツ制作のため、前年下半期から実施した編集者の増強や、作家への印税率見直しによる原価増が影響し、減益となりました。

## ○エンタメ事業

単位：百万円・%

	2020年度	2019年度	前年比
売上高	313	616	50.9
営業利益	▲25	11	—
経常利益	▲25	11	—

エンタメ事業は、減収、経常損失となりました。

日販セグモ(株) (2020年4月1日設立) は、新型コロナウイルスの影響で、主力事業である検定並びにイベントにおいて、中止・延期・受験者の申し込み控えが発生し、大きな打撃を受けました。当初実施予定だった23件の検定・イベントのうち、約7割にあたる16件が中止または延期に追い込まれました。第二四半期以降は、リアル検定やイベントの再開、オンライン検定の拡大等で業績は回復しつつあります。

“見て・触れて・買える”日本最大級の文具の祭典として人気を博している「文具女子博」は、コロナ禍にあっても文具女子博ファンのみなさまのご期待にお応えするため、「文具女子博 petit 名古屋」のオンライン開催や、クラウドファンディングにて「文具女子博2020」の運営支援を募るなど、新たな試みに挑戦しています。

## ○不動産事業

単位：百万円・%

	2020年度	2019年度	前年比
売上高	1,575	1,329	118.5
営業利益	613	583	105.2
経常利益	572	571	100.2

不動産事業は、増収増益となりました。

主な増収要因は、2019年10月の持株会社体制移行に伴い、グループ内取引での不動産収

入が増加したことと、(株)蓮田ロジスティクスの増収によるものです。

(株)蓮田ロジスティクスは、前年に、既存倉庫の解体工事があり、売上・経常利益ともに大きく減少していましたが、今期、借地事業として新たに大型の物流施設を建築していることで、先行して土地賃貸収入が発生しました。

【対象となる会社】

日販グループホールディングス(株) (不動産)、(株)蓮田ロジスティクス

○その他の事業

単位:百万円・%

	2020年度	2019年度	前年比
売上高	4,295	2,065	208.0
営業利益	114	▲11	—
経常利益	183	385	47.6

その他の事業（下記の会社で構成）は、増収、経常減益となりました。

今期より、グループの管理業務をシェアードサービス会社化したため、日販ビジネスパートナーズ(株)（2020年4月1日設立）がその他の事業に新たに加わりました。グループ会社の決算業務の一元化など、グループ全体の効率化を図っております。

日販テクシード(株)（グループIT）は、主に外販事業の好調により、増収増益の決算となりました。また、AIを活用した実証実験をグループ書店店頭にて行ってまいります。全国の書店別売上データの学習をもとにして販売施策商品を展開すべき書店をレコメンドするなど、今後も、売上向上につながる取り組みを行ってまいります。

(株)ASHIKARI（ブックホテル「箱根本箱」の経営）は、「箱根本箱」にて、4～7月は新型コロナウイルスの影響で客室稼働率が大きく落ち込みましたが、8～9月はGoToトラベルの追い風を受け客室稼働率95%以上と盛り返し、黒字を確保しました。

なお、従来取次事業に含めていた受取配当金、金融収支については、持株会社体制移行に伴い、その他の事業に区分を変更しました。

【対象となる会社】

日販グループホールディングス(株) (子会社管理・資金運用)、日販テクシード(株)、(株)ASHIKARI、日本緑化企画(株)、日販ビジネスパートナーズ(株)

### 1-3. 連結計算書類

#### ① 連結貸借対照表

単位：百万円

資 産 の 部				負 債 の 部			
科 目	2020年度 (第73期)	2019年度 (第72期)	前年差異	科 目	2020年度 (第73期)	2019年度 (第72期)	前年差異
	金 額	金 額			金 額	金 額	
流 動 資 産	156,571	169,744	-13,172	流 動 負 債	161,958	178,486	-16,527
現金及び預金	35,347	35,279	68	支払手形及び買掛金	120,767	135,711	-14,943
受取手形及び売掛金	80,201	93,126	-12,924	電子記録債務	8,782	8,573	208
有価証券	1,816	2,031	-214	短期借入金	14,638	14,656	-17
たな卸資産	33,703	34,177	-474	未払法人税等	257	458	-200
その他の流動資産	7,295	6,539	756	諸引当金	4,807	5,750	-943
貸倒引当金	-1,792	-1,409	-383	その他の流動負債	12,704	13,336	-631
固 定 資 産	82,340	83,473	-1,133	固 定 負 債	20,614	19,642	972
有形固定資産	54,321	56,556	-2,234	長期借入金	2,763	1,868	894
無形固定資産	2,570	3,416	-846	退職給付に係る負債	5,114	5,420	-305
投資その他の資産	25,974	24,624	1,350	その他の固定負債	12,736	12,352	383
貸倒引当金	-526	-1,123	596	負 債 合 計	182,573	198,128	-15,554
資 産 合 計	238,911	253,217	-14,305	純 資 産 の 部			
				株 主 資 本	36,895	36,427	467
				資 本 金	3,000	3,000	0
				資 本 剰 余 金	-	-	-
				利 益 剰 余 金	35,740	35,259	480
				自 己 株 式	-1,845	-1,832	-13
				そ の 他 包 括 利 益 累 計 額	14,377	13,713	663
				非 支 配 株 主 持 分	5,065	4,948	117
				純 資 産 合 計	56,338	55,089	1,248
				負 債 及 び 純 資 産 合 計	238,911	253,217	-14,305

#### ② 連結損益計算書

単位：百万円・%

科 目	2020年度 (第73期)		2019年度 (第72期)		前年比	前年差異
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比		
売 上 高 合 計	242,861	100.0	250,820	100.0	96.8	-7,959
売 上	247,908		255,964			-8,056
売 上 割 戻	5,046		5,144			-97
売 上 原 価	209,870	86.4	216,237	86.2	97.1	-6,367
売 上 総 利 益	32,991	13.6	34,582	13.8	95.4	-1,591
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	31,589	13.0	33,509	13.4	94.3	-1,920
販 売 費	11,652		12,432			-780
一 般 管 理 費	19,937		21,077			-1,140
営 業 利 益	1,401	0.6	1,072	0.4	130.7	328
営 業 外 収 益	242	0.1	245	0.1	98.7	-3
受 取 利 息	50		42			8
そ の 他 の 収 益	191		202			-11
営 業 外 費 用	159	0.1	202	0.1	78.8	-42
支 払 利 息	45		42			2
そ の 他 の 費 用	113		159			-45
経 常 利 益	1,484	0.6	1,116	0.4	133.0	368
特 別 利 益	51	0.0	1	0.0	-	49
特 別 損 失	458	0.2	206	0.1	222.3	252
税 金 等 調 整 前 中 間 純 利 益	1,078	0.4	911	0.4	118.3	166
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	480		517		93.0	-36
法 人 税 等 調 整 額	167		123		134.8	43
中 間 純 利 益	430	0.2	270	0.1	159.1	159
非 支 配 株 主 に 帰 属 する 中 間 純 利 益	137	0.1	131	0.1	104.8	6
親 会 社 株 主 に 帰 属 する 中 間 純 利 益	292	0.1	138	0.1	210.4	153



## 2. 補足資料

### 2-1. 連結子会社一覧 (34 社)

#### ★新規連結会社

事業	会社名
取次事業	日本出版販売株式会社
	株式会社MPD
	株式会社MPDパートナーズ
	C5SP 株式会社
	株式会社マクス
	出版共同流通株式会社
	中三エス・ティ株式会社
	日販物流サービス株式会社
	株式会社B・Story
	MO商会株式会社
小売事業	NICリテールズ株式会社
	プラス株式会社
	株式会社すばる
	株式会社多田屋
	株式会社リブプラス
	株式会社クロス・ポイント
	株式会社積文館書店 (子会社 6 社を含む★)
	株式会社いまじん白揚
株式会社Y・space	
海外事業	日販アイ・ピー・エス株式会社
雑貨事業	株式会社ダルトン
コンテンツ事業	株式会社ファンギルド
エンタメ事業	日販セグモ株式会社★
不動産事業	株式会社蓮田ロジスティクス
その他の事業	日販テクシード株式会社
	株式会社ASHIKARI
	日本緑化企画株式会社
	日販ビジネスパートナーズ株式会社★ (旧お茶の水商事株式会社を含む)

## 2-2. 連結主要経営指標の推移（半期ベース）

単位：百万円・人・社

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
売上高	297,036	282,590	264,058	250,820	242,861
営業利益	761	1,371	569	1,072	1,401
経常利益	964	1,478	642	1,116	1,484
親会社株主に帰属する中間純利益	75	823	373	138	292
純資産額	55,850	57,307	56,352	55,089	56,338
総資産額	278,293	289,334	280,137	253,217	238,911
従業員数	3,028	2,888	2,949	2,692	2,654
(他 年平均臨時雇用者数)	(5,627)	(5,340)	(5,294)	(5,563)	(5,406)
連結対象子会社数	27	27	27	26	34